

「第3回 創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」 グランプリは、青稜高等学校に決定

平成 28 年 1 月 10 日（日）に東京大学本郷キャンパスで行われた「第3回 創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ」の最終審査会において、青稜高等学校（東京都品川区）河崎奎太さんのプラン名「“ききゅう（木救）教室”で、学校生活を快適にする！」がグランプリを獲得し、エントリー総数 264 校、2,333 件の頂点に立ちました。

グランプリを獲得したプランの「“ききゅう（木救）教室”で、学校生活を快適にする！」は、ビジネスプランの完成度の高さに加え、自身の経験に基づく「シックスクール症候群で苦しんでいる生徒を通学できるようにする」というテーマが明確であり、社会的な課題の改善につながる点が特に評価され、受賞に至りました。

準グランプリには、香川県立高松工芸高等学校のプラン名「おへんろレンタサイクル～四国八十八ヶ所 慈転車参り～」、そして審査員特別賞には、静岡県立富岳館高等学校の「究極のエコ資材の可能性 ～被災地の法面緑化～」、岐阜県立大垣養老高等学校の「グリーンカーテンに革命起こせ！～冬でも楽しめる食用瓢箪カーテン～」、千葉県立千葉商業高等学校の「Reborn ～捨てられる地域資源、落花生の「カラ」に新たな役割を！～」の3プランが選出され、さらに5プランに優秀賞が贈呈されました。

今回の応募プランは、高校生らしい自由な発想で考えたユニークなプランのほか、少子高齢化や地域の活性化などをテーマに掲げるプランが多く、高校生の社会問題への関心の高さが伺えるものでした。日本公庫はこれからも、将来の日本を支える、伸びやかで起業家精神を持つ人材を育てるお手伝いをしてまいります。

【最終審査会参加者】



【グランプリ受賞 青稜高校】



【準グランプリ受賞 高松工芸高校】



【第3回 創造力、無限大∞ 高校生ビジネスプラン・グランプリ最終結果】

受賞	高校名 〈チーム・個人名〉	プランタイトル	プラン内容
グランプリ	青稜高等学校 (東京都) 〈河崎奎太〉	「ききゆう(木救)教室”で、学校生活を快適にする！」	シックスクール症候群で学校に行けない生徒を通学できるようにするため、国産のスギ材を用いた「ユニットタイプの箱型教室」を開発・販売するプラン。
準グランプリ	香川県立 高松工芸高等学校 〈お遍路☆GIRL〉	おへんろレンタサイクル ～四国八十八ヶ所 慈転車参り～	四国八十八ヶ所の各寺に貸出・返却できるレンタサイクルを設置し、自転車での巡拝をサポートするプラン。
審査員 特別賞	千葉県立 千葉商業高等学校 〈NASS〉	Reborn ～捨てられる地域資源、落花生の「カラ」に新たな役割を！～	千葉県の名産である落花生に着目し、廃棄される殻を用いた消臭剤を製造・販売するプラン。天然素材を使用した低価格の消臭剤としてアピールする。
	岐阜県立 大垣養老高等学校 〈瓢箪倶楽部秀吉〉	グリーンカーテンに革命起こせ！～冬でも楽しめる食用瓢箪カーテン～	食用瓢箪を活用した苗の販売、イルミネーション製作体験教室および参加型イルミネーションイベントの開催により、地域振興を図るプラン。
	静岡県立 富岳館高等学校 〈キノコ研究班〉	究極のエコ資材の可能性 ～被災地の法面緑化～	キノコから抽出した植物成長調整物質「A0H」を活用し、製紙廃材と組み合わせた土壌良資材を製造・販売するもの。「A0H」のストレス耐性をいかし、東北被災地の法面や樹勢回復に活用する。
優秀賞	岩手県立 遠野緑峰高等学校 〈草花研究班〉	ホップ和紙拡大プロジェクト	ホップの栽培地として有名な遠野において、廃棄される大量のホップの「つる」を活用して、和紙を製作、名刺や卒業証書として販売するプラン。
	市川高等学校 筑波大学附属駒場高等学校 武蔵高等学校 桐朋女子高等学校 〈TASK〉	アイデアランウェイ	文化祭で文化部が行っている良質な展示発表を電子化して公開するWebサイトの運営。中高生の閲覧が多いと想定し、学習塾のスポンサー料を収入源とする。
	大阪府立 三国丘高等学校 〈これすぽ！〉	JAPINOY EDUCATION	日本で働きたいフィリピン人への通信教育と職業の斡旋を行う BOP ビジネス。来日前に語学等の通信教育を行うことにより、来日後の資格取得をスムーズにする。
	岡山県立 倉敷鷺羽高等学校 〈ビジネス研究部〉	創生ヒーロー “コジマキッド” ～児島未来ビジョンへの挑戦～	ご当地ヒーローを主人公とした動画を作成することにより、地元倉敷市児島の郷土文化の創生に取り組み、地域活性化に向けた機運を高めていくプラン。
	広島市立 広島工業高等学校 〈はかり隊〉	はかり隊 Green Shiko Project	室内環境を監視し、熱中症対策等に役立つ環境センサーユニットを製造・販売する。熱中症のリスクを自動的に判断し、エアコンをつけたり、音声案内を流す機能を持つ。